

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の 提供と地域から愛される病院を目指します。

- ○認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と 温かみのある療養の提供
- 2認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ⑤地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- △働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

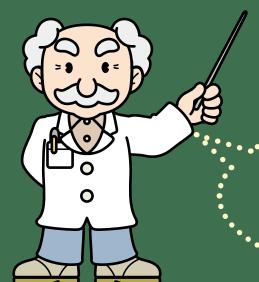
患者様の権利に関する宣言

- →最善の医療を平等に受ける権利
- 2選択および自己決定する権利
- ❸意識のない患者様および法的 能力のない患者様の権利
- ❹患者様の意思に反する処置・
- ⑤十分な説明を受ける権利
- ⑥情報開示を求める権利
- 7個人情報およびプライバシー を保護される権利

- 8健康教育を受ける権利
- ❷個人の尊厳を守る権利
- ⊕宗教的支援を受ける権利
- ●退院後も治療や福祉を受ける 権利
- むより良い環境で治療を受ける 権利
- 13通信・面会を自由に行う権利
- 12 退院や処遇改善の請求を行う 権利



毎 福井県立すこやかシルバー病院



すこやか講座

認知症の人の問題の多くは、環境が作り出しているといわれています。環境が整わない限り、認知症の人の心身の安定は望めません。日常生活のケアについて、まず今回は"環境"について紹介します。

環境を整える

❖本人を緊張させている刺激を取り除く

音、強すぎる光、空調の風の吹き出し、広すぎる場など…。

❖心地よい五感刺激のある環境作り

色彩、音、変化に富んだ味の食材、触れて心地 よいクッション、抱けるもの、自然素材のもの…。

❖身体で覚えている力を引き出すもの・場面作り

家事・育児、仕事などの習慣動作や楽しみ事を 自然にやれる"もの(小道具)"の調達。

❖自分を取り戻せる場づくり

本人や家族の写真、思い出のもの、本人の好むもの。

❖安心していられる居場所の確保

本人の行動パターンの把握、なじみのものを活用した居場所づくり。

❖見当識を強化する場所づくり

本人にわかる目印(トイレ、居室、ベットなど) 月日や季節が分かる暦、カレンダー、職員の名 称、季節感のあるしつらえ。

❖自然や地域との関わり

日常的に、自然光、風、緑、生き物に触れる場面をつくる。家族はもちろん、町の人々、子どもたちと触れ合う場面作り。戸外に出る機会作り(散歩、ドライブ、買い物、好む場探し)

環境変化への対応

- ❖ストレスに耐える力や関係作りの力が低下している認知症の人にとって、環境変化は大きなダメージをもたらします。
- ❖安易に環境を変えることは望ましくありません。しかし、やむを得ず変える場合には…
- ○場所や位置関係を繰り返し伝える。
- ○長く使用していたもの、印象深いもの、心の支えとなるようなものを身の回りに置く。
- ○可能であれば、部屋とトイレの位置関係など今までと同じにするなど、住み慣れた部屋に近い環境にする。

など、工夫が必要です!

次回は "食事" のケアに ついて紹介します



(その人にとって) 家庭的な環境づくりの大切さ!

家族は今

離れて出る笑顔と優しさ

 $H \cdot Y$

義母は今年83歳。夫を12年前、実母を7年前に亡くし、その頃から物忘れの兆候が見られ、アルツハイマー型認知症と診断され5年。元気な頃は仕事を手伝い時間があると畑や旅行に行ったり充実した日々を過ごしていたのに、家族に対して暴言、依存、被害妄想、意欲をなくし仕事場に出てくるので自営業の私達にとって毎日が苛立ち、□論の絶えない日々が続きました。

最近は週5日はデイサービス、月2回はショートステイを利用し、「行きたくない!」と言いながらも通っていましたが、体調も悪くなり何度も転倒したこともあるので先生に相談した所、短期での入院を受け入れて頂けるという事でお願いしました。

入院して2ヶ月。初めは少し驚きがあり、身内からも「かわいそう」と言われ、自己嫌悪にもなりました。週1回、面会をしていますが今はとても落ち着いていて、周りの皆さんとおしゃべりをしたり、楽しい時間を過ごしています。家では、笑う事も話す事もなくお互い避けていたのに、少し離れる事により気持ちに余裕が持て、優しく接する事が出来ました。若干入院させる事に抵抗はありましたが、同じ様な病気の方々それぞれに違う介護、一人一人に合った接し方をしてらっしゃる皆様を見て、これから続く介護に少しですが参考にさせて頂きたいと思います。







看護の日

5月 12 日はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であることから「国際看護師デー」または、「看護の日」と定められており、その日を含む5月8日~5月 14 日までを「看護週間」といいます。 すこやかシルバー病院では毎年、「看護の日」を記念したイベントを行っており、今年も5月 10 日に看護部による看護展を開催しました。



イベントの紹介

- ♥ 認知症に関するDVD放映会
- ♥ 救急時に役立つ!心臓マッサージ体験
- ♥ 認知症介護相談会
- ♥ 血圧測定と健康相談
- ♥ 記念品進呈





心臓マッサージ体験



正確にできていれば ブルーのランプが 点灯しますよ

ささやかですが看護のこころを 地域の皆様にお届けしました

The 病棟



防災訓練

6月20日、当院において夜間想定の防災訓練を実施しました。夜間想定という事もあり、少ない人数のスタッフで、早く適切で安全に患者様に避難していただくために、スタッフが本番さながらに一生懸命取り組んでいました。訓練終了後には、消防士さんから講評と適切なアドバイスを頂きました。

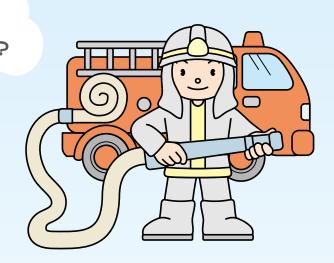


火事ですよ〜。 こっちに逃げて下さい!

どこが、火事だろう? 機械室だ!









認知症啓発活動



講演会「認知症と家族支援」



認知症の方へのお世話



- ●またやったの!
- ●しっかりしてください!
- ●何度も同じこと言わせないで!

日時/平成23年11月3日紀 14:00~16:00

会場/福井県生活学習館 多目的ホール (ユー・アイふくい) Tel 0776-41-4200



叱っても、問題解決しないばかりか、 逆効果になることも…

- ●ケアを提供する側のさまざまな感情表出が受け 手と思われる認知症を患う方へ、どのような影響を及ぼしているのであろうか?
- ●ある種の感情表出は、どんな行動・心理症状 (BPSD) を起こし、逆に解消させるのであろ うか?

今年度の講演会は、みのクリニック院長 三野 善央先生をお招きし、ご自身の研究や臨床経験等 を通じて感じておられることをお話していただく 予定です。

講演会の詳細については病院ホームページをご 覧ください。

研修会

『認知症をめぐる倫理的ジレンマ』

~倫理問題を個人の悩みにしないために~

臨床倫理を学びませんか?

今日の医療現場において「倫理」は不可欠な要素となっています。ところが臨床現場での「倫理」問題は医師や看護師など医療者側のいわゆる「モラル」の問題だととらえられていないでしょうか。確かにそれも大切なことなのですが…

「倫理」を現場で役立てるために、また倫理問題を「個人の悩み」にしないために「喫茶☆倫理」のマスターが易しく、楽しくお話してくれますよ~

認知症介護の現場で働く専門職の方にとって目からウロコの研修会です。



〈日 時〉平成23年8月27日生

10:00~16:00

〈会 場〉福井県立図書館 多目的ホール

福井市下馬町51-11

Tel (0776) 33-8860

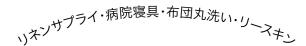
お問い合わせは福井県立すこやかシルバー病院まで

【講師プロフィール】

宮崎大学医学部社会医学講座教授 宮崎大学附属病院臨床倫理コーディネーター

板井 孝壱郎先生

2002年に医学部内に全国初の倫理コンサルテーション・ルーム「喫茶☆りんり」を開設され、病院スタッフらに臨床現場の倫理的ジレンマを気軽に相談してもらうのが目的でコーヒーを飲みながら話し合う「倫理コンサルテーション」を行っています。電子メールや電話による個別の倫理相談や学内外の臨床現場に赴く「出前」コンサルテーションなどでもご活躍中。





だるき屋商事株式会社



本社・工場 〒910-0103

〒910-0103 福井市中角町 28 - 33 - 1 III (0776) 55-1424代 IX (0776) 55-1429

春江工場

〒919-0476 福井県坂井市春江町針原1-1

TEL (0776) 51-3927代

営 業 所 敦賀



健康長寿の里ふくいの元気な農林水産業を支援します

農林水産業の総合支援窓口

- ●将来の農業を担う就農者の育成
- 農地の利用集積
- 農業の無料職業紹介

- ●造林、育林、分収造林
- ●農林水産業に関する研修・教育 etc



社団法人

ふくい農林水産支援センター

Fukui Agriculture, Forestry and Fisheries Support Center 〒910-0003 福井市松本3丁目16番10号 TEL 0776-21-0010

空気調和・衛生設備工事・設計施工



代表取締役会長 杉田宗雄 代表取締役社長 北川震一本 社/〒910-0004 福井市宝永4-6-3 IEL (0776) 24-1700



平成23年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修

No	n. 研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と 介護のポイント	10月15日(土)	午前10時~午後12時10分 (午前9時30分から受付)	■認知症の症状・分類・治療について■認知症の人への対応のヒント	50名
2	高齢者に関する制度と 相談窓口	10月22日(土)		介護保険制度について困った時の相談窓□	50名
3	認知症を予防しよう!	10月29日(土)		認知症予防の基礎知識と食事心も体も元気にしよう	50名

外来患者様・ご家族様の研修

※こちらの研修には定員はありません

N	D. 研修名	開催日	研修時間	主な研修内容
4	知っておきたい認知症の 疾患と介護方法 ※同じ内容の研修を2回開催	11月4日) 3月2日)	午後1時30分〜午後3時 (午後1時から受付)	■認知症の症状・分類・治療についてと 在宅でのかかわりのポイントについて解説する
5	知って得する社会保障制度 ※同じ内容の研修を2回開催	11月11日) 3月9日)		●介護保険をはじめとする高齢者福祉制度について わかりやすく解説する
E	介護経験者が語る認知症介護 ※同じ内容の研修を2回開催	11月18日) 3月16日)		 ●介護の先輩から介護経験を聴く ■家族会の役割や活動について紹介する
7	, 認知症専門医に聞いてみよう ※同じ内容の研修を2回開催	11月25日) 3月23日)		■認知症に関する疑問、悩みなど専門医に質問し アドバイスを受ける

ケア専門職の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
8	高齢者を理解するために	11月8日以	午前9時30分~午後4時50分 (午前9時から受付)	●高齢者の心と体の特徴を講義、擬似体験を通して解説する	50名
9	認知症の理解とケア	11月22日(火)	午前10時〜午後5時 (午前9時30分から受付)	■脳の働きや認知症の病態について解説する■基本的認知症ケアについて解説する	50名
10	高齢者に関する制度と家族支援	11月29日似	午前9時30分~午前11時40分 (午前9時から受付)	●介護保険制度や認知症専門外来の活用について解説する	50名
11	高齢者への食事援助	9月14日例	午前10時~午後3時30分 (午前9時30分から受付)	●高齢者への食事援助や□腔ケアについて解説する	50名
12	高齢者への排泄援助と スキンケア	9月27日似	午前10時30分〜午後3時30分 (午前10時から受付)	●高齢者への排泄援助とスキンケアと 認知症者への排泄援助の実際のついて解説する	50名
13	認知症介護における倫理	8月27日出	午前10時~午後4時 (午前9時30から受付)	■認知症介護の現場に活かせる臨床倫理について解説する	150名

ケア専門職の方を対象にした実習

N	p. 実習名	開催日	実習時間	定員
1	4 病棟実習	10月19日似~20日休 2日間	実習1日目:午前9時~午後5時(午前8時30分から受付) 実習2日目:午前8時30分~午後3時	10名
1	5 デイケア実習	10月11日似~12日似 2日間	実習1日目:午前9時~午後5時(午前8時30分から受付) 実習2日目:午前8時30分~午後5時	5名

研修場所/福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

(但し、No. 13 については会場が県立図書館多目的ホールとなります。)

実習場所/福井県立すこやかシルバー病院 認知症疾患治療病棟/認知症デイケア

≪ 研修に関するお問い合わせ ≫

研修案内は、新聞等への掲載 ($No.1 \sim 3$)、及び各施設宛に通知 ($No.4 \sim 15$) いたします。 ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

(0776) 98-2700 介護教育部まで 研修に関するお問い合わせは TEL

